



24

## くらもとどお 蔵本通り

広島県呉市中央1～4丁目

呉市は、広島県の西南部に位置し、瀬戸内海に面し、三方を山に囲まれ天然の良港に恵まれていることから、海軍の町として発展した。戦後は旧海軍の施設、土地を転用し、造船等の重工業地帯を形成し、瀬戸内地域における中核的工業都市となっている。

〔文化・観光〕音戸の瀬戸、二級峡公園、二河峡、入船山記念館

呉市内の中心部を南北に貫いている「蔵本通り」を整備し、うるおいの空間をつくり出した。

六車線あった道路を四車線にしてできた空間を、周辺の公園と一体的に整備したものである。通り全体を「出会い」「集い」「憩い」の三つのテーマにゾーニングし、さらにその中に出会いの広場、水の広場、集いの広場、芸術の広場、こもれびの広場、花の広場を設けている。

通りは赤レンガを基調として、モニュメント・アンティーク風の照明灯や信号灯の設置、電線も地中化されており、植栽なども含めて歩車道や緑地が整備されており、若いカップルや家族連れなど、行き交う人々に落ち着きを与え、親しまれている。

また集いの広場にある野外ステージでは、市民参加の演奏会などが行われ、休日には多くの人々にぎわっている。

